

勝利争闘ジェット三里塚 / 臨調・行革粉砕 / 砂けむりあげて 中江-北原選挙闘争へ

告示まで、あと34日間

全組合員の総決起を訴えます

全組合員のみなさん、四月統一地方選挙は、四月十四日の告示まで、あと三四日間へと迫りました。中江―北原選挙闘争を中軸とするこの四月統一地方選に勝利するか否かが、勤労千葉組合員はもとより、すべての労働者・人民の命運を決し、日本の現在と未来を大きく決します。組合員一人ひとりが持てる全ての力を投入し切って、最後の追いこみに総決起しようではありませんか。

この五カ月間の成果を必ず結実させよう

昨年十月の定期大会で「勤労千葉組織内候補として中江氏を船橋市議会へ」と決定して以降、約五カ月にわたる闘いは、目に見える形で着実な成果をかちとってきました。更に、十二月の定期委員会で「中江選挙必勝―北原候補はじめ全推せん候補の必勝で、反動中曽根体制打倒」の路線をうちたて、組織をあげて闘いに突入し、前進をかちとってきました。

それは何よりも、勤労千葉の組合員一人ひとりのためまぬ努力の結晶であり、中江―北原候補のかかげる路線の正しさと、実践力ある情熱とがんばりであり、又、真に闘う指導部を求める多くの労働者・住民の熱い期待のあらわれです。この成果を確実に勝利へと結実させるために、この選挙闘争の意義をもう一度確認しようではありませんか。

中江・北原選挙に勝利し、反動攻勢を阻止しよう

まず第一は、中江―北原選挙闘争の勝利を通して、中曽根反動内閣の軍事大国化・改憲、侵略戦争にむけた反動攻勢を阻止しようということです。船橋では、「核戦争に反対し、憲法とくらしを守る市民の会」と連帯して、われわれ組合員も一人ひとりが、一軒一軒訪ね歩き、「反核・護憲・平和都市宣言」署名を訴え、短期間に八千数百名の署名を獲得しましたが、われわれは、勤労千葉に寄せる市民の大きな期待、熱い激励のこぼれを決して忘れることはできません。

成田では、「成田の平和を守る市民の会」を先頭に、騒音や空港一辺倒市政や汚職に怒りをもつ多くの住民の声を結集し、「成田空港の軍事使用に反対する請願書」を二千数百名の住民署名を添えて市議会に提出し、二月二十八日には、現職成田市議でもある北原氏が市議会本会議で鋭く市当局を追及し、闘っています。

「戦争」の足音が次第に高まるなかで、この、しっかりと結合された中江選挙闘争と北原選挙闘争こそは、反動中曽根と唯一真正面から対決する闘いとして大きな期待がかけられているのです。

両候補の当選をかちとり、船橋から成田から政治をかえるトキの声をあげていこうではありませんか。

中江―北原選挙闘争を通じ、闘いを地域に拡大しよう

第二は、勤労千葉の運動を積極的に地域の労働者・住民の間に拡大し、とりわけ「三里塚・国鉄を中軸とした広範な闘う統一戦線」を地域に根づかせる事です。

勤労千葉は、三里塚労農連帯のもと、八一・三ジェット闘争を闘うとともに、「三里塚・反合を闘う労働運動」路線の地域そして全国への拡大にむけ闘ってきました。とりわけ、この間の闘いの過程で勤労千葉の運動を知り、共鳴し、勤労千葉組合員の真面目さ、純粋さ、若々しさに接した多くの労働者・市民が「船橋市民の会」に結集し、中江選挙勝利にむけた運動に積極的に参加する状況が生み出されています。

われわれは、船橋市と成田市に、勤労千葉と三里塚農民を支持し連帯して闘う地域運動をつくり出していこうではありませんか。

「一人ひとりが活動家」となり、「全員総決起・総行動」で、勝利しよう

第三は、全組合員が中江選挙闘争を闘うことを通して、勤労千葉のスローガンである「一人ひとりが活動家になろう」を実現しようということです。「国鉄の中江―三里塚の北原」の必勝にむけた署名運動・オルグ・ピラ入れ行動は、確かに強い信念と情熱に支えられた、粘り強い闘いでなければ、勝ちぬけるものではありません。

だからこそ、この闘いは、勤労千葉のスローガンを物質化するためのまたとないすばらしいチャンスとして、文字通り組合員一人ひとりが自らの飛躍をかけて主体的に取り組むことによって、かっつて重要なすばらしい勝利をきりひらくことができるのです。すでに船橋と成田でその突破口は開かれました。あと一ヶ月余、全力を投入して、中江―北原必勝をかちとろう。